



大屋富士

伸びよ 豊かに たくましく

令和2年6月1日
養父市立大屋中学校
学校だより 第7号
TEL 079-669-0111

6月1日、学校再開

4月8日(水)に挙行了した入学式の翌日9日(木)から始まった臨時休業。先週の5月28日(木)と29日(金)の「登校可能日」を経て、本日からいよいよ学校を再開します。まだまだ新型コロナウイルス感染症の脅威が収まったわけではなく、「正しく恐れながら」引き続き緊張感を持って予防対策を講じていくことは言うまでもありませんが、今日はひとまず、学校を再開できることを喜びたいと思います。



<久しぶりの登校(5/28)>

保護者の皆様におかれましては、この長い臨時休業の間、お子様に心配りや声かけをしていただきながら、生活や健康、学習の維持にご尽力いただきましたこと、厚くお礼申し上げます。何かと気がかりなことも多く、ご心労の続く毎日ではなかったかと思えます。学校としましても、お子様が学校生活にゆるやかに、そして着実に馴染んでいくことができるように、



<朝の健康観察：生徒玄関>

お子様の状況について積極的に連絡をとらせていただくなど、ご家庭と連携を図りながら指導・支援にあたっていきます。ご家庭におかれましても、本日から学校が再開しますが、目や心をお子様から離されることのないようよろしくお願いいたします。

学校の教育活動については、先週の4月28日・29日を「プレ登校」とするならば、本日から6月14日(日)までの2週間を「フィッティング登校」と位置づけ、普段なら当たり前のことも、生徒たちの状況に寄り添い、ひとつずつ確認しながら、生徒たちとともに学校全体の体制を創っていく考えでいます。そして、感染症を巡る今後の動向に大きな変動がなければ、6月15日(月)からは、部活動も含めてすべての教育活動について「本格実施」する運びでいます。

まずは2週間。登下校においても特別の措置を講じつつ、「やっぱり学校っていいなあ」という生徒の実感をしっかりと受け止め、安心・安全を大切にして諸活動に取り組んでいきますので、お子様のことや学校に対して、何かお気づきのことやご要望、ご意見等がありましたら、速やかに担任まで連絡いただきますようお願いいたします。



<久しぶりの給食(5/29)>

生徒たちはもちろん、保護者の皆様にとっても、我々教職員にとっても、かけがえのない令和2年度であり、これまで以上に大切にしたい1年ですから。

5月28日・29日に話したこと

<5月28日：1校時の全校集会にて>

全員がこうして揃って今日を迎えられたことをうれしく思う。このことが、一番大事なこと。これから少しずつ学校生活に馴染んでいってくれたらそれでいい。仮面ライダーのように急に变身できるわけではない。決して無理をせず、でも自分で意識しながら、少しずつリズムを整えていってほしい。

ひとつだけお願いがある。長い臨時休業期間、意外にも自分に甘かったり、だらしなかったり、「もっとこうしておけば良かった」と反省していることもあるかと思う。でも、だからと言って、自分はダメだとか、いい加減だとか自分を責める必要はない。こんな時間は、長い人生の中で



そうあるものではなく、この状態に大人も含めてみんなが戸惑い、どうしていいかわからないことの方が多く、どんな生活をしていたらバッチリ満点だなんて、誰にも評価できない。

だから、みんなが休業期間中に「友だちに会って一緒にいられたら楽しいのに」と思っていたのなら、友だちをこれまで以上に大切に、仲間とともにステキな学校生活を送ってほしい。もし「勉強できない」という不安があったのなら、これからしっかりと勉強に打ち込んでいってほしい。もし「やっぱり学校って、ないとあかんよね」と思ったことがあるのであれば、これから部活動も含めて学校生活まるごと、一杯楽しんでいってくれたらいい。**すべてはこれからだ。**先生たちとともに、またみんなですていしい大屋中学校を創っていこう。

<5月29日：給食後の全校集会にて>

昨日28日には、生活アンケートやストレス・チェック、キャリア・パスポートなどいくつかの用紙に丁寧に回答してくれて、ありがとう。みんな一人一人、これからの生活について様々な思いや心配を持って登校してくれてきていることがよく分かった。そこで今日は、これからの見通しや方向性などについて話そう。

まずひとつめ、学校行事のこと。「体育祭や文化祭はあるのですか」「修学旅行はどうなりますか」「部活動の大会はありますか」といったことが挙がっていた。体育祭や文化祭といった学校行事は、基本的には実施する方向だ。感染症の防止対策上、もしかしてプログラムが例年どおりにならないかもしれないが、工夫して実施したい。修学旅行も9月16日～18日、東京方面で再計画している。トライやる・ウィークも、わくわくオーケストラも、実施の方向で動いている。部活動の総体が中止になったが、規模や試合数等を工夫しながら、交流試合のようなことができないか検討している。決まり次第、改めて顧問の先生から連絡していただく。



ふたつめ、学習のこと。「勉強は終わりますか」「進み方が速くなり、ついていけるか心配」といったことが挙がっていた。授業については、先生たちも今まで以上に工夫しながらやっていく。だからみんなも家庭学習に今まで以上にしっかりと取り組んでいってほしい。予習型の家庭学習にシフトしていく。やり方については、また先生たちから指導していただく。補充の時間もとろうと思っている。場合によっては、部活動よりも優先することもあり得る。がんばっていこう。

三つめ、学校生活のこと。「生活のリズムが取り戻せるかな」「友だちと以前のようにうまくやっていけるかな」といったことが挙がっていた。これは、昨日、話したとおり。少しずつ馴染んでいこう。特に、友だちを大切にしてほしい。仲間意識をもって、これからの学校生活をみんなが楽しめるようにしていってほしい。一番大切なことであり、先生たちもしっかりとサポートしていきたい。